

住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会

平成29年度事業報告

住民参加型在宅福祉サービスは、これまで、住民どうしの助け合い、支えあいにより暮らしと地域を拓いていくことを目的に、制度によるサービスが徐々に整備される中でそれらと連携し、あるいは自らその担い手となり、支援を求める一人ひとりに寄り添いながらサービスを提供してきました。

平成27年度から実施されている新しい地域支援事業では、地域の多様なニーズに対応する住民主体の生活支援の拡充が期待されており、実施主体となる各市町村では、段階的に事業移行が進められています。これらの制度動向をふまえ、住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会では、平成29年3月に取りまとめた提言のもと、各地で展開される実践団体のゆるやかなネットワークとして、地域の先駆的なサービスを学び、実践交流を進めることでより地域に必要とされるサービスを提供し、活動を推進していく取り組みを進めました。

1. 全国連絡会運営に関わる会議等の開催

(1) 総会・行政説明

日時：平成30年2月20日（火） 会場：全社協会議室 出席者：35名

報告・協議内容

① 行政説明（厚生労働省）（敬称略）

- ・ 地域福祉施策動向 社会・援護局地域福祉課 地域福祉専門官 後藤真一郎
- ・ 障害福祉施策動向 社会・援護局障害保健福祉部 地域生活支援推進室
虐待防止専門官／障害福祉専門官 片桐公彦
- ・ 児童福祉施策動向 子ども家庭局総務課 少子化総合対策室 室長補佐 小林克嘉
- ・ 高齢者福祉施策動向 老健局 振興課 課長補佐 谷内一夫

② 平成29年度事業報告（案）

③ 平成30年度事業計画（案）

④ 平成30・31年度幹事団体の選出・役員選出について

(2) 幹事会

<第1回>

日時：平成29年7月14日（金） 会場：尚友会館会議室

出席者：41名（発表者・オブザーバー含む）

報告・協議内容

① 全国絡会29年度事業計画・進め方

② 実践報告「食を通じた地域課題への支援」

地域関係が疎遠になるなか、孤立、離職やひとり親家庭などで生活に困窮してい

る家庭や子どもに対し、課題を一步でも解決するための取り組みを進めている団体の実践から、地域課題の解決のためのヒントを学びました。

実践報告者

(敬称略)

- ・こども食堂の実践
東京都大田区／気まぐれ八百屋だんだん 近藤博子
- ・フードバンクの実践
千葉県千葉市／フードバンクちば 代表 菊地 謙
- ・おてらおやつクラブの実践
おてらおやつクラブ事務局
愛知県名古屋市長久寺 副住職 高山信雄

<第2回>

日時：平成29年10月19日（木） 会場：全社協会議室 出席者：27名
報告・協議内容

- ① 役員選出スケジュール等について
- ② 住民参加型在宅福祉サービス団体実態調査 実施結果報告について

<第3回>

日時：平成30年2月20日（火） 会場：全社協会議室 出席者：30名
報告・協議内容

- ① 総会議事の確認について

<第4回>

日時：平成30年2月20日（火） 会場：全社協会議室 出席者：30名
報告・協議内容

- ① 正副代表幹事等の選出について

(3) 正副代表幹事会

<第1回>

日時：平成29年4月14日（金） 会場：全社協会議室
報告・協議内容

- ① 平成29年度事業の進め方について
- ② 平成29年度第1回幹事会の進め方について
- ③ 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 参画団体の報告について

<第2回>

日時：平成29年8月22日（火） 会場：全社協会議室
報告・協議内容

- ① 事業進捗状況、参画団体の報告について
- ② 「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」について
- ③ 平成29年3月策定「提言」の具体化について
- ④ 第2回幹事会について

2. 担い手の力量向上や団体運営の支援

(1) 「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」開催

平成28年度まで開催した「住民参加型在宅福祉サービス団体全国研究セミナー」を基盤に、新しい地域支援事業のもと、平成29年度から「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」として2回目の開催となりました。豊富な知識・経験を有する各サービスの全国団体のサポートにより、多様な実践を通じて、サービスの立ち上げや運営に役立つ情報、留意点、専門職や住民との協働のあり方を学びました。

日時：平成29年10月19日（木） 会場：全社協・灘尾ホール、5階会議室

共催：住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会

一般社団法人 全国食支援活動協力会

特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

参加者：293名

プログラム

(敬称略)

【シンポジウム】

「住民主体の生活支援サービスを充実させるために ～地域に必要とされる活動を生み出し展開する～」

シンポジスト

- ・住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事 兼間道子
- ・一般社団法人 全国食支援活動協力会 専務理事 平野覚治
- ・特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎民子
コーディネーター
- ・全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋 良太

【分科会】

<第1分科会> 訪問型サービス

コーディネーター

- ・住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事 成瀬和子
実践報告
- ・特定非営利活動法人 地域たすけあいの会 副代表理事 田中将太
- ・社会福祉法人 出雲市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 春日智徳

<第2分科会> 食事サービス

コーディネーター

- ・一般社団法人 全国食支援活動協力会 専務理事 平野覚治
実践報告
- ・認定NPO法人 あかねグループ 理事長 清水福子
- ・認定NPO法人 じゃんけんぽん 理事長 井上謙一

＜第3分科会＞ 移動・外出支援

コーディネーター

- ・大分大学 客員研究員 椋野美智子

実践報告

- ・たすけあいセンターJUNTOS（ジュントス）代表 横田能洋
- ・北杜市役所市民部介護支援課 篠原 亮

（2）総会・行政説明の開催（再掲）

最新の制度・政策動向や施策側が住民主体の活動に対して期待している役割について、住民参加型在宅福祉サービス団体の活動領域に関係分野から説明いただくことで、各団体の活動領域や活用できる制度を知る機会として開催しました。

（3）「新地域生活支援構想会議」への参画

生活支援サービスや助け合い活動を推進する市民活動や高齢者福祉を推進する全国団体が、お互いの実践を交流・情報交換し、これからの地域の姿、制度・施策のあり方について提言活動を行うことを目的に設置された「新地域生活支援構想会議」に、全国連絡会として参画しました。（担当：兼間道子 副代表幹事）

3. 都道府県・指定都市段階及び全国のネットワークづくりの推進

連絡会事務局（都道府県・指定都市社協）に対する情報提供・資料提供を行いました。また、都道府県・指定都市社協で把握している住民参加型在宅福祉サービス団体の名簿について、更新を行いました。

4. 住民参加型在宅福祉サービス団体と活動に関する調査・研究

（1）実態調査の集計・報告

平成28年度住民参加型在宅福祉サービス団体活動実態調査（調査実施：平成29年1月～3月）について、概算集計を行い、第2回幹事会で報告を行いました。報告書は調査実施協力団体等に配布しました。（3月予定）

（2）「支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム」開催（再掲）

5. 広報活動

幹事会やメールニュースにおいて、関連制度改正の動向や住民参加型在宅福祉サービス団体の活動に関する情報提供を行いました。

6. 関係機関との交流

- (1) 全国連絡会として、「新地域生活支援構想会議」に参画しました。(再掲)
(担当：兼間道子 副代表幹事)
- (2) 全国的なボランティア活動を推進・実施する団体で構成される「広がれボランティアの輪」連絡会議へ参画しました。(担当：矢澤久子 代表幹事)
- (3) こども食堂を広げるうえでの様々な取組みや課題を学びあい、支援方針について意見交換を図るゆるやかな場となる「広がれ、こども食堂の輪！」推進委員会に参画しました。
(担当：山王丸由紀子 副代表幹事)